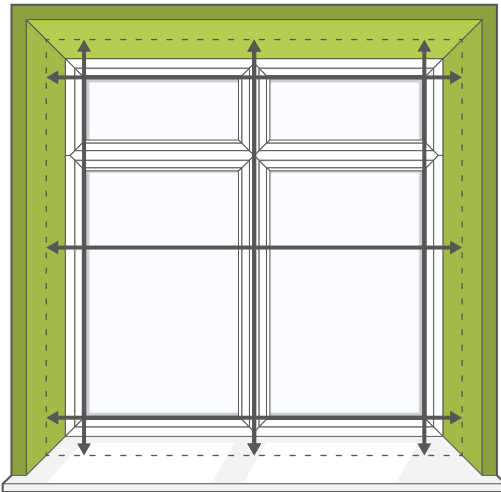


このガイドはクリック2フィット(突っ張り式)の採寸ガイドです。
突っ張り式は窓枠の内側に取り付けるので「天井付け」を選択します。

クリック2フィット(突っ張り式)採寸方法



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠(木枠)内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

注意：

クリック2フィット(突っ張り式)は、突っ張る強度に影響が出るため、必ず金属メジャーを使用してmm単位で採寸して下さい。

- 窓枠の内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。幅の数値が異なる場合は、突っ張る箇所(上部)の寸法を入力します。数値に5mm以上の誤差がある場合は、そのまま取り付けると操作不良を起こす可能性があるため、カスタマーサポートまでご相談ください。
- ゆとりは差し引かず、採寸したそのままの寸法で注文します。

アドバイス：

ブラインドを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかもチェックしてください。(図参照)



必要な奥行き

ローマンシェード

3.6cm・5.7cm※

※注意：

生地の種類によって異なりますが、幅が131.1cm以上、または丈が201.1cm以上の場合、5.7cmの奥行きが必要になります。取り付け箇所の奥行きが5.7cm以下でご心配な方はカスタマーサポートまでご相談ください。